

募集締切
6月5日(水)

漂泊の俳人・井月（せいげつ）

井月は、幕末の越後（現在の新潟県長岡市）に生まれ、1887年に没するまでの約30年間を信州の伊那谷を放浪しながら多くの名句を詠んだ漂泊の俳人です。



井月は無一物で欲がなく、俳諧一筋に生き、句を頼まれればその場で応じたといわれています。そんな井月の生き方や書の巧さは、現在でも多くの俳人らが注目していると同時に、井月同様に各地を放浪した種田山頭火が井月に傾倒し井月の墓を訪れたエピソードや、芥川龍之介が井月の書を「入神」と讃えた逸話があるほどです。

井月の命日「井月忌」が春の季語になりました。改訂のため令和4年2月以降に順次刊行される「新版角川俳句大歳時記」掲載されます。

井月に関するお問い合わせや情報提供は
一般社団法人井上井月顕彰会東京事務所（03-3341-6975平澤・岩田）まで

第33回 信州伊那

井月俳句大会

せいげつ



伊那市へのアクセス

東京方面から
(高速バス) バスタ新宿から直通バス (3時間25分)
(お車) 高井戸ICから中央道を経由して小黒川JCTまたは伊那IC
(電車) JR中央東線、JR飯田線経由で伊那市駅

名古屋方面から
(高速バス) 名鉄バスターから直通バス (3時間8分)
(お車) 東名、小牧JCTから中央道を経由して小黒川JCTまたは伊那IC
(電車) JR中央西線、JR飯田線経由で伊那市駅

大阪方面から
(高速バス) 阪急梅田から直通バス (5時間41分)
(お車) 名神、小牧JCTから中央道を経由して小黒川JCTまたは伊那IC
(電車) 新幹線・近鉄特急で名古屋へ。
名古屋からJR中央西線、JR飯田線経由で伊那市駅

九州・北海道方面から
福岡空港・新千歳空港から信州まつもと空港へは定期便が就航しています。
空港から伊那市へは、高速バス・電車でお越しください。

伊那市は長野県の南部に位置し、南アルプスと中央アルプスの二つのアルプスに抱かれ市の中央部には天竜川と三峰川が流れています。「天下第一の桜」と称される高遠城址公園の桜や「ざざむし」「蜂の子」などの昆虫食が有名です。伊那市では多くの人に井月を知っていただくために、3月には井月忌の集い（東京）、9月には千両千両井月さんまつりと信州伊那俳句大会（伊那市内）を開催しています。



こうふくじ
香福寺の石仏と紅葉

主催 信州伊那井月俳句大会実行委員会、伊那市
後援 (一社)井上井月顕彰会、長野県俳人協会、角川『俳句』、信濃毎日新聞社
中日新聞社、長野日報社、伊那市有線放送農業協同組合
信州・市民新聞グループ、みすゞ俳句会、上伊那教育会（順不同）